

寒冷地対策手順書 (AG-30)




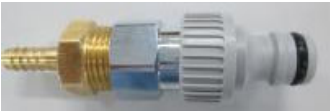
冬季でも機械を使用する場合

本器を使用する場合は屋内の 5℃～40℃(水温 50℃以下)に設置してください。また水温が 1℃以下の場合も使用を控えてください。機械内部で凍結の可能性があります。

氷点下になるような環境で本器を設置している場合

水道管や蛇口が凍結するような環境に設置している場合、本体や給水配管の通水路内部で水分が凍結膨張し、破損などの影響を及ぼす可能性があります。凍結の可能性がある場合、本器の使用は行わず、下記のハンドポンプセット AG-30 によって本体の水抜き作業を行い、保管してください。

ハンドポンプセット AG-30 の構成部品

ハンドポンプセット	構成部品	部品名称	員数
		携帯用ポンプ	1
		接続ホース	1
		先端接続部品	1

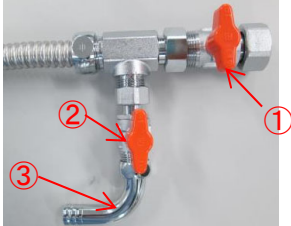


本体の水抜き作業

手順 1) 配管の接続方法

※出水（取水）ホースをタンクから外してください。

※作業前に乾いたタオル等を用意しておいてください。配管を外すときに下に広げておいてください。

接続部から水が出る可能性があります。

<ul style="list-style-type: none"> 給水元のバルブ①を閉めてください。 排圧用のバルブ②を開いて給水配管内の圧力がなくなった事を確認してください。 給水元の分岐配管のカップリング（蛇口の先）③を外してください。 	
<ul style="list-style-type: none"> カップリングを取外した先に口金 13 ④を取り付けてください。（ハンドポンプセットに付属） 	
<ul style="list-style-type: none"> ハンドポンプセットのホース先端部を口金 13 につないでください。 ※排圧用のバルブ②は開いた状態にしてください。 	

手順2) 本体の設定（洗浄モードの操作手順）

水抜き作業を行うには洗浄モードにする必要があります。以下の手順で行ってください。

- ① 主電源ブレーカーを一度 OFF する。（電源ランプが消えるまでお待ちください。）
- ② 取水量設定（＋）スイッチを2つ同時に押しながら主電源ブレーカーをONにして洗浄モードに切り替える。
※洗浄モードになっていない場合はもう一度やり直してください。
- ③ ためる水量が100ℓ以上に設定されていることを確認
（少なすぎると作業中に本器が停止します）



【注意】 ためる水量を変更する場合

ためる水量を変更すると現在表示されている色（下記参照）の水質の設定されている数値も変更されます。

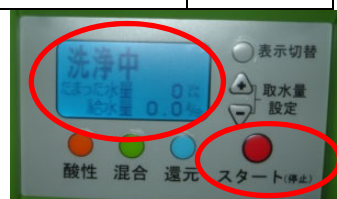
例：画面が青色の場合は「還元」のためる水量も変更されます。

（「還元（青）」、「混合（緑）」、「酸性（橙）」）

※作業終了後元の設定に戻してください。

- ④ スタートスイッチを押す前に以下の項目を確認してください。
- ⑤ スタートスイッチを押す。
右の表示画面のように「洗浄中」の表示になっていることを確認してください。

配管部の確認項目	チェック
給水元のバルブを閉じましたか	
排圧用のバルブは開いていますか	
ポンプの準備はできましたか	
浄モードになっていますか	
ためる水量が100リットル以上になっていますか	



手順3) ハンドポンプセットでの水抜き作業

- ・ハンドポンプセットで空気を送り本器内に溜まっている水を抜いてください。

本体前面から出ている出水（取水）、排水ホースから水が出なくなるのが目安です。

（60回以上のポンプアップが必要です。）

※空気が入らない場合は(4)、(5)の項目を再確認してください。

手順4) 作業終了後、再びスタート（停止）スイッチを押して洗浄モードを止めて下さい。

※長期使用しない場合は、下記の項目を実施してください。

- ・主電源ブレーカーをOFFにして電源プラグをはずして下さい。
- ・できるだけ配管類を外し、本体が凍結しない場所に移動させるか、断熱材や乾いた毛布、段ボール等で覆い、凍結しないように保管願います。

プレフィルターユニットをご使用の場合

プレフィルターユニットをご使用の場合は水抜き作業後、プレフィルターユニットのケース底面にある水抜きネジを外し、ユニット内の水を抜いてください。ケース等が破損する可能性があります。

※抜きネジは無くならないように保管しておくか再度取り付けておいてください。

保管後、再使用する時は以下の作業を行い、異常がないか確認してください。

- 凍結している場合は、本体内部の水が溶けるまでおまちください。
- プレフィルターユニットをご使用の場合、水抜きネジが閉まっていることを確認してください。
- 配管を外した場合は、元の状態（設置説明書 参照）に戻しその後、給水元栓を開き、給水配管や本体から水漏れがないことを確認してください。
- 水漏れがない様でしたら電源プラグを差し試運転を行い、本器が正常に動作していることを確認してください。（取扱説明書 P.7 日常点検、定期点検について参照）

※水漏れがある場合は当社にご連絡ください。（取扱説明書 裏表紙参照）